

——「遙かなる古への響き」——

「一弦琴」&「シンギングボール」の演奏

[日 時] 平成26年 6月 14日(土) 午後14時

[場 所] 松本記念音楽迎賓館Bホール(世田谷区岡本2-32-15) 03-3709-5951番
○東急田園都市線「二子玉川」下車。バス東急コーチ玉31成育医療センター行。又は玉32美術館行。「もみじが丘」「岡本三丁目」下車。徒歩5分。
○小田急線「成城学園前駅」下車。東急バス都立01都立大学北口行。「岡本三丁目」下車。徒歩5分
*、駐車場ペースがありませんので最寄りの交通機関をご利用下さい。

[参加費] 1000円

[人 数] 50名

[内 容] _____

一、「一弦琴演奏」 奏者永川辰男・・琴板に一本の弦が引かれているだけの素朴な民俗楽器。「須磨琴」「一つ緒」「板琴」とも言う。その歴史は古く中国の宮廷楽器として演奏され、わが国では吉備真備が中国より持参したとも、天竺から渡ってきたとも言われ平安時代初期の古典に登場。一頃「幻の音楽」「幻の音色」とも呼ばれた時期もある。「もののあはれ」の語りと共に演奏活動。

○、演奏曲・・「須磨」「漁火」「無常」「泊仙操」(鳥、虫、水の音を1本の弦で演奏)・その他

一、「シンギングボール演奏」 奏者秋山千鶴子・・太古の昔よりヒマラヤの人達によって使用。チベット仏教の密教の教えである「五感を研ぎ澄ませる」ことが悟りへの到達の道であるとされ、僧侶が唱えるマントラと合わせて使用。マントラを唱えているように聴こえる音からシンギングボール(歌う器)と呼ばれるようになったとも言われている。チベットにて修業。帰国後癒しの音楽として演奏、且つ多くの人達に指導。

[問合わせ先]

- ・一弦琴樂風会 永川 090-8552-5921番
- ・松本記念音楽迎賓館 横田 03-3709-5951番

[共催] 松本記念音楽迎賓館

[後援] 三重県文化振興事業団